

こ そ ほん か ず 姑蘇繁華圖

—18世紀蘇州の光と影—



上映時間 44分

一般社団法人 中日文化研究所 研究費助成映像

研究・映像演出 重森 貝崙

内 容

「天に天堂あり 地に蘇杭あり」、18世紀・乾隆帝治世下の蘇州は杭州と並び中国に咲いた大輪の華でした。繁栄の頂点に達していた蘇州は、その文化レベルもまたさまざまなジャンルでトップレベルにありました。例えば**演劇・音楽文化**。蘇州の近くに演劇と音楽が盛んなことで知られた崑山こんざんというところがあり、この地で生まれたのが「崑曲（崑劇）」で、北京の京劇にも大きな影響を与えるほど一世を風靡しました。そして芝居とくれば美味しい料理、すなわち**食文化**です。富の集中するところに美食が集まったのです。

一方、科挙試験をめぐる**教育文化**。蘇州は数万人に一人という進士選抜考試において中国でも一、二を争う好成绩を収め、就中、科挙成績第一位の「状元」は蘇州出身者の独占するところでした。それだけ教育水準が高かったことを示しています。さらにもう一つあげるならば園林文化すなわち**庭園文化**です。独特の形をした太湖石を配し、運河の水を池に導いた優美・艶冶な蘇州の池泉園林は、中国庭園文化の代表的存在でした。

「姑蘇繁華圖」が描かれたのは乾隆24年（1759年）、描いたのは蘇州出身の画家・徐揚じょようです。徐揚は蘇州の華々しい経済活動のありさまと、この地に咲き誇った諸文化の粋を長さ約12メートルの絵巻物に写し取りました。この絵巻には、登場人物一万二千余、水上の船舶約四百隻、五十余りの橋梁と蘇州及びその衛星都市・木瀆鎮もくどくちんの賑わいが活写されているのです。

制作協力：岩波映像株式会社

撮影協力：(有) ハヤシエンタープライズ

【スタッフ】 撮影・編集：廣瀬 充男 整音・選曲：吉田 茂一

ナレーション：山川 建夫



二階建ての大酒樓と婚礼船



大勢の観客で賑わう村芝居



船で埋め尽くされた船着場



萬年橋と蘇州城内外の賑わい

■個人貸出・館内上映可能

価格：10,000円（+消費税）

■個人貸出・館内上映・団体貸出・館外上映可能

価格：20,000円（+消費税）

配給・販売 岩波映像株式会社

〒112-0002 東京都文京区小石川2-1-13-205

TEL:03-5689-2601 FAX:03-5689-2685

E-mail:iwanami@iw-eizo.co.jp http://iw-eizo.co.jp